



高強度異径鉄筋継手

NMBプライススリーブ SYSTEMS

Super UX

スーパーUX BCJ評定-RC0192



日本プライススリーブ株式会社

グラウト材

スーパーUXの性能を最大限に活かす高強度グラウト材「SSモルタル」「SSモルタル120N」「SSモルタル150N」

グラウト材の管理項目

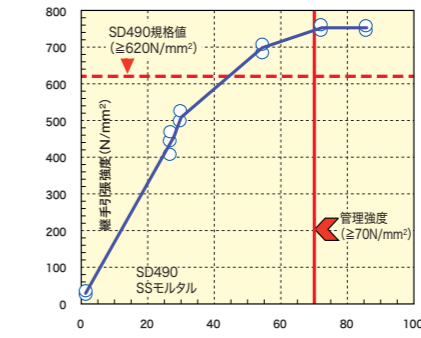
管理事項	SSモルタル (15kg/袋)	SSモルタル120N (25kg/袋)	SSモルタル150N (25kg/袋)	
使用水量 (Kg/袋)	2.1~2.3 (標準2.2)	2.65~3.35 (標準3.0)	2.3~2.7 (標準2.5)	
練混ぜ時間	約2分間	約2分間	約3分間	
フロー値 (mm)	155~235	185~285	230~300	
J14ロート値 (秒)	5~15	-	-	
継手部の温度 (°C)	0~60			
可使用時間 (練混ぜ後)	約40分	約60分	約60分	
継手の管理強度 (材齢28日)	円柱供試体	≥70N/㎠	≥100N/㎠	≥120N/㎠
	立方供試体	≥77N/㎠	-	-
製造時基準強度 (材齢28日・20°C)	≥80N/㎠	≥120N/㎠	≥150N/㎠	

グラウト材の試験結果例

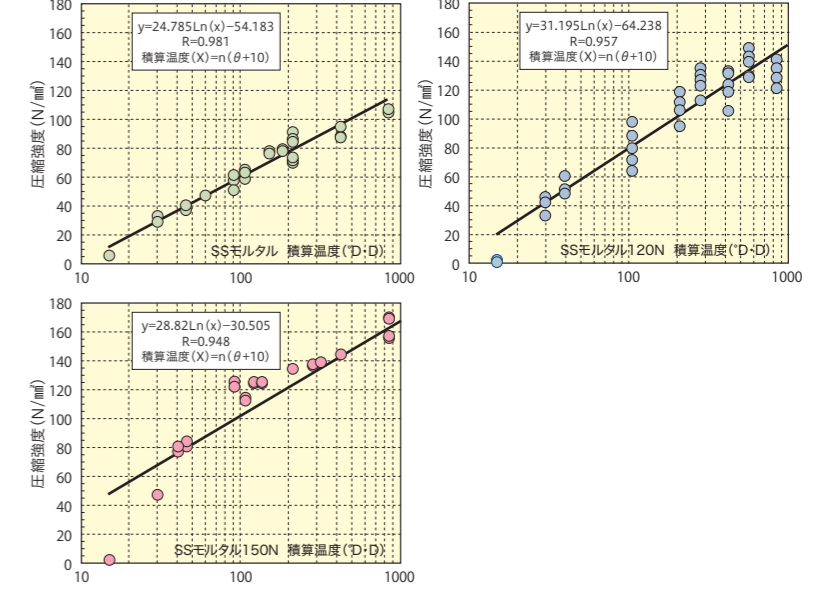
充填材	フロー値*1 (mm)	J14ロート*2 (秒)	養生 温度 (°C)	凝結時間 (時一分)		圧縮強度*3 (N/mm ²)				
				始発	終結	材齢 1日	材齢 3日	材齢 7日	材齢 28日	
SSモルタル	205	6.2	5	9-31	13-35	10.1	42.2	56.5	86.3	
				20	4-18	5-55	30.5	55.2	71.1	100
				30	2-23	3-20	49.0	68.5	79.1	101
SSモルタル 120N	249	-	5	9-55	15-00	4.62	39.0	107	129	
				20	7-00	8-25	37.8	82.7	112	136
				30	6-05	7-00	60.4	93.4	128	144
SSモルタル 150N	275	-	5	10-30	13-30	2.50	84.9	114	146	
				20	8-30	10-10	48.2	125	136	171
				30	7-00	8-30	79.7	126	138	172

- *1 JASS 15 M-103「セルフベリング材の品質基準」に定めるフロー試験方法に準じ行うものとし、50(内径)×100mm(高さ)の塩ビパイプを用い300×300mm以上の鋼板又はガラス板の上でフローを測定する。
- *2 土木学会規程に規定するφ70(上端)×φ14(下端)×392mm(高さ)のロートを用いた充填モルタルの流動性試験方法(JSCE-F541)による。
- *3 JIS A 1132「コンクリートの強度試験用供試体の作り方」(供試体寸法 φ50×100mm(高さ)およびJIS A 1108「コンクリートの圧縮強度試験方法」による。

グラウトの圧縮強度と継手強度の関係



グラウトの積算温度と圧縮強度の関係



試験データ

当社が誇る充実した検証システムから「信頼」の継手は生まれます。

弾・塑性域正負繰返し試験 (SD490 D41)

品質検証システム (ニスコテクニカルセンター)
充実した品質試験によりさまざまなデータが入手可能です。

計算方法に対する継手の使用の可否

計算方法	使用箇所	部材種別	A級継手		
			全数継手	半数継手	
ルート① [23][22] 又は壁式構造	a	大ばりの中央部の主筋 小ばりの主筋及びスラブの引張り鉄筋	○	○	
	b	柱とばりの材端部の主筋 壁ばりの主筋及び1階の耐力壁脚部の縦筋	○	○	
	c	その他の鉄筋	○	○	
ルート②	a	大ばりの中央部の主筋 小ばりの主筋及び引張り鉄筋	○	○	
		FA	●	○	
		FB	●	○	
	b	耐震設計上、隅部ヒンジが形成される材端部の主筋及び1階の耐力壁脚部の鉄筋	○	○	
		FD	○	○	
		WA, WB	○	○	
	c	上記以外の材端部の主筋	○	○	
		FC	○	○	
		FD	○	○	
	d	その他の鉄筋	FA	○	○
			FB	○	○
			FC	○	○
その他の鉄筋		FD	○	○	
		WA, WB	○	○	
		WC, WD	○	○	

表中の○は、○印のついていない下位の部材種別と仮想して計算してある場合には、該当継手を使用してよいことを示す。
●印は、設計指針のFA柱及びFB柱の条件を満たす適用範囲において、継手が柱梁接合部内に入り込まないことを条件としてSA級として扱える。
建物の設計方法及び継手の使用箇所の可否は、[2020年度版 建築物の構造関係技術基準解説書]の鉄筋継手性能判定基準 2.鉄筋継手使用基準の表1及び表2のA級によるものとする。

日本プライススリーブ株式会社

本社
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町17-1 箱崎リージェントビル2階
TEL:03-5642-6120(代) / FAX:03-5642-6150

大阪営業所
〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4-7-7 平野町イシカワビル3階
TEL:06-6222-1321 / FAX:06-6222-1330

ニスコテクニカルセンター
〒271-0065 千葉県松戸市南花鳥字向町313-5
TEL:047-308-3681(代) / FAX:047-308-3682

<https://www.splice.co.jp>

(関連会社) ※ISO認証対象外
ニスコWEST株式会社
〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4-7-7 平野町イシカワビル3階
TEL:06-6203-5588

SPLICE SLEEVE NORTH AMERICA, INC.
135 N. Old Woodward Ave, Suite 222, Birmingham, MI 48009 U.S.A.
Phone : 1-734-838-0420 / MAIL : info@splicesleeve.com

SPLICE SLEEVE(S) PTE LTD.
601 Sims Drive #01-06 Pan-I Complex Singapore 387382
Phone: 65-6738-3655 / Fax: 65-6738-5019



高強度異形鉄筋継手



高強度異形鉄筋継手



プレキャスト工法・現場打ち工法に最適

スーパーUX

信頼性が最も高いSA級を取得した、数少ない鉄筋継手

1973年に日本で初めて、「モルタル充填式鉄筋継手」として一般認定を取得して以来、開発努力を重ね生まれたスーパーUXは、最高峰のSA級を取得。その余裕ある性能と品質は、国内に留まらず、グローバルにその活躍の場を広げ、世界の建築関係者に喜ばれています。

グアム、阪神大震災、東日本大震災と3度の震災で安全を証明

NMBスプライススリーブシステムは、1993年のグアム大震災、1995年の阪神大震災、そしてまだ記憶に新しい2011年の東日本大地震に遭遇。いづれも震源地に近い建物に採用されていたにも拘わらず、構造的、人的被害はゼロ。高い安全性、信頼性を証明しました。



震災で倒壊したマンション (95.2.11撮影)



震源地付近でスプライススリーブを採用したマンション(95.2.17撮影)

プレキャストから現場打ちまであらゆる場面で活躍

スーパーUXは、用途を選びません。SA級ならではの、より高い信頼性を要求される部分(柱脚)ではもちろん、プレキャスト、現場打ちにも対応でき、建設、土木を問わず幅広く活躍します。熟練を必要としない優れた施工性は、工期短縮、省力化に貢献し、コスト削減を実現します。

グラウト材

SSモルタル

スーパーUXの性能を確実に発揮させる施工性抜群の専用グラウト材



SSモルタル SSモルタル 120N SSモルタル 150N

名称・寸法・グラウト量目安

■ スーパーUX (N型)

SSモルタル SSモルタル 120N SSモルタル 150N

スリーブ呼び名	接合鉄筋	スリーブ長さ (mm)	スリーブ径 (mm)		注入口位置 (C) (mm)	排出口位置 (D) (mm)	リーバーストップ (RS) 位置E (mm)	鉄筋埋込長さ (mm)		グラウト量目安 (本/袋)		
			外径 (A,a)	内径				広口側 (F1)	狭口側 (F2)	SSM (15kg袋)	SSM120N SSM150N (25kg袋)	
				広口 (B)								狭口 (b)
5UX (SA)	D16	245	45	32	22	218	115	90~120	105~115	29	44	
6UX (SA)	D19 (D16)	285	49	36	25	258	135	110~140	125~135	22	33	
7UX (SA)	D22 (D16, D19)	325	53	40	29	298	155	130~160	145~155	17	25	
8UX (SA)	D25 (D19, D22)	370	58	44	31	343	175	150~185	165~175	13	19	
9UX (SA)	D29 (D22, D25)	415	63	48	35	388	200	175~205	190~200	10	15	
10UX (SA)	D32 (D25, D29)	455	66	51	39	428	220	195~225	210~220	9	14	
11UX (SA)	D35 (D29, D32)	495	71	55	44	468	240	215~245	230~240	7	11	
12UX (SA)	D38 (D32, D35)	535	77	59	47	508	260	235~265	250~260	6	9	
13/14UX (SA)	D41 (D35, D38)	620	82	62	51	593	300	275~310	290~300	4	7	

[注] ()は径違いの接合鉄筋径を示します。

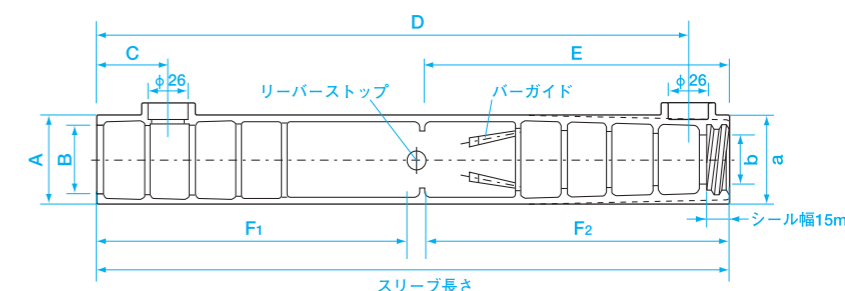
*SA級継手として使う場合には、ねじ筋鉄筋は除きます。

カットオフ筋に対応したボルト付きの継手もございます。詳細はお問い合わせください。

■ 鉄筋種類とスリーブの材質

継手工法	N型
使用グラウト材	SSM SSM120N SSM150N
鋼種	SD295~SD490
呼び名	D16~D41
形状	JIG G 3112に規定する異形棒鋼
スリーブ材質	FCD700-2 FCD450-10*
異径間(同鋼種)継手	2径差違い
異鋼種-異径間継手	1鋼種1径差違い

*5UX, 6UXのみ可



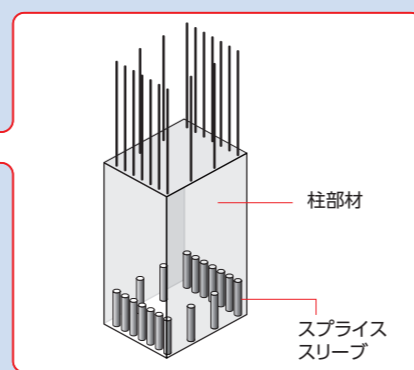
スリーブの断面図

柱部材

プレキャスト(PCa)工法での使用例



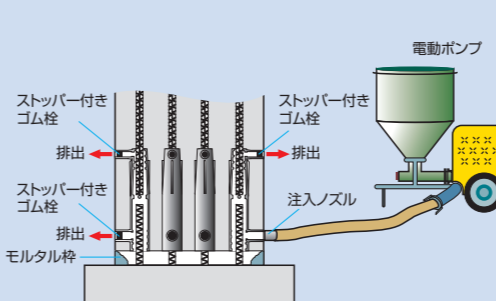
■ 建込



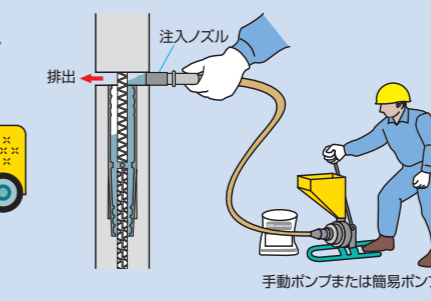
■ 柱部材の製造



■ ポストグラウトU方式の同時充填施工例

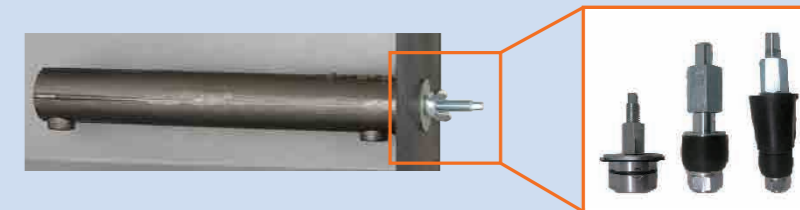


■ ポストグラウトD方式の同時充填施工例



*グラウト材は、SSモルタル120N及びSSモルタル150Nのみ可

■ スリーブセッター



■ プレグラウト方式の施工例

